



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社プラザクリエイイト本社
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 黒部 一仁

TEL 03-3532-8812

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,739	28.0	134		141		267	
2020年3月期第1四半期	5,192	10.5	306		297		287	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 266百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 288百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	21.10	
2020年3月期第1四半期	22.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	12,095	1,950	16.1	153.70
2020年3月期	12,542	2,305	18.4	181.72

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,950百万円 2020年3月期 2,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		7.00	7.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2021年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の連結業績予想につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では合理的な業績予想の算出が困難なことから、引き続き「未定」とし、今後、合理的に予想可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	13,836,258 株	2020年3月期	13,836,258 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,146,701 株	2020年3月期	1,146,701 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	12,689,557 株	2020年3月期1Q	12,819,557 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループはモバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたプリント事業の変革に積極的に取り組んで参りました。

モバイル事業におきましては、モバイル端末の販売方法をめぐる法規制などにより外部環境が大きく変化している状況下、引き続き出店を推し進め、店舗数拡大に伴う販売台数の積み上げや、スマートフォン関連商材の提供に取り組んでまいりました。

出店数に対応する人員確保を目的とした採用活動を強化し、2020年4月には新規学卒者が約100名入社に至り、質の高いサービスを継続し提供できるよう、教育研修の強化を図りました。

また、コロナ禍により、高まるデジタルデバイスや周辺ソリューションへの企業ニーズに対応するべく法人営業部門を増員し、法人顧客の開拓強化にも取り組んでまいりました。以上の結果、モバイル事業の業績は、減収、増益となりました。

プリント事業におきましては、引き続きパレットプラザ店舗の運営形態を直営店舗からフランチャイズ店舗への転換を推し進め、当第1四半期連結累計期間末にはフランチャイズ店舗185店、直営店舗126店となりました。直営運営事業から卸売り事業への業態転換による収益構造の変化に加え、事業構造改革による販売管理費や一般管理費の削減に努めましたが、新型コロナウイルスによる休業や時短営業に伴う客数の減少などにより、売上高が大幅に減少する等、厳しい経営を余儀なくされました。

一方、ハンドメイドをだれでも楽しめるDIYクラフトキット『つくるんです®』は、自宅で過ごす時間が増加する中、当シリーズがその時間を少しでも有意義なものにできるアイテムであることに加え、ラインナップの拡充が功を奏し、販売開始した2018年秋以降の、シリーズ累計出荷数が49万個を突破いたしました。

今後も『つくるんです®』ブランドを新たな当社の収益の柱とすべく、ブランディング及び製品開発をさらに強化していく所存です。

その他、経済活動が大きく制限される環境下、感染予防対策を徹底し、新たな生活様式に則った店舗整備や接客の標準化を図り、お客様と従業員の安全確保に努めながら営業を継続いたしました。

引き続き、“小売業”から“企画会社”への業態の一新を加速させるべく、コーポレートビジョンならびにロゴの刷新、人事評価制度のリニューアルなどを推し進めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、37億39百万円（前年同期比28.0%減）となり、営業損失1億34百万円（前年同期：営業損失3億6百万円）、経常損失1億41百万円（前年同期：経常損失2億97百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億67百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失2億87百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①プリント事業

当第1四半期連結累計期間のプリント事業においては、パレットプラザの直営運営事業から卸売り事業への移行及び、新型コロナウイルスの影響によって売上高は8億40百万円（前年同期比43.1%減）、セグメント損益は、3億80百万円の損失（前年同期：2億59百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

当第1四半期連結累計期間のモバイル事業においては、店舗数拡大に伴う販売台数の積み上げなど堅調に推移したほか、1ユーザーあたりの単価が業績に寄与しましたが、新型コロナウイルスの影響によって売上高は28億98百万円（前年同期比21.9%減）、一方のセグメント損益は、前連結会計年度より出店数が約10%（93店舗から106店舗）増加したことにより2億51百万円の利益（前年同期：26百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産の額は120億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億46百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が2億78百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億38百万円、その他流動資産が54百万円、無形固定資産が90百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債の額は101億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が4億37百万円増加し、支払手形及び買掛金が4億86百万円、その他流動負債が1億円、リース債務（固定負債）が81百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産の額は19億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億55百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失2億67百万円、配当金の支払額88百万円により利益剰余金が3億56百万円減少したことなどによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の18.4%から16.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間において新型コロナウイルスの感染拡大により、当社のすべての事業の実店舗網（FC店含む）では、以下の理由により売上高減少などが発生しております。

- ①路面店の営業時間短縮や営業休止、ショッピングモール等の商業施設自体の営業時間短縮や営業休止に伴う店舗稼働時間の減少によるもの
- ②外出自粛に伴う客数減少によるもの

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響については、政府による「緊急事態宣言」解除後は、自粛要請は緩和され、全店で営業を再開いたしましたものの、依然として感染拡大の収束時期等を見通すことは困難な状況であり当該影響は当面続くものと想定されます。

したがいまして、現時点で業績に与える影響を合理的に算定することが困難なことから2021年3月期の連結業績見通しについては未定としています。

今後、状況が収束し合理的な業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,642,456	1,920,539
受取手形及び売掛金	1,912,038	1,473,269
商品及び製品	1,537,509	1,517,655
原材料及び貯蔵品	170,236	235,616
その他	790,623	735,746
流動資産合計	6,052,864	5,882,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,579,966	2,584,984
減価償却累計額	△1,038,593	△1,048,428
建物及び構築物（純額）	1,541,373	1,536,556
機械装置及び運搬具	2,023,297	1,963,994
減価償却累計額	△1,894,057	△1,839,873
機械装置及び運搬具（純額）	129,240	124,121
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	2,016,245	2,005,605
減価償却累計額	△1,325,207	△1,392,640
リース資産（純額）	691,038	612,965
その他	1,028,859	984,738
減価償却累計額	△741,509	△744,192
その他（純額）	287,349	240,546
有形固定資産合計	4,160,251	4,025,437
無形固定資産		
のれん	66,959	57,048
リース資産	153,092	84,700
その他	214,675	202,524
無形固定資産合計	434,727	344,273
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,654,290	1,615,347
その他	252,770	240,145
貸倒引当金	△12,289	△12,289
投資その他の資産合計	1,894,771	1,843,203
固定資産合計	6,489,750	6,212,913
資産合計	12,542,614	12,095,740

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,369	930,572
短期借入金	3,373,645	3,619,126
リース債務	373,208	358,737
未払法人税等	11,593	2,898
賞与引当金	124,209	69,118
その他	1,057,032	956,247
流動負債合計	6,357,058	5,936,700
固定負債		
長期借入金	2,673,117	3,110,270
リース債務	640,252	558,573
資産除去債務	214,047	196,255
退職給付に係る負債	77,852	71,138
長期預り保証金	229,665	227,426
その他	44,674	44,938
固定負債合計	3,879,609	4,208,602
負債合計	10,236,668	10,145,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,326,253	969,669
自己株式	△361,379	△361,379
株主資本合計	2,293,370	1,936,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,575	13,651
その他の包括利益累計額合計	12,575	13,651
純資産合計	2,305,946	1,950,437
負債純資産合計	12,542,614	12,095,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,192,432	3,739,681
売上原価	3,487,496	2,371,481
売上総利益	1,704,935	1,368,199
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	284,208	105,712
給料手当及び賞与	522,931	572,193
賞与引当金繰入額	59,141	68,221
雑給	207,392	113,379
賃借料	284,452	250,142
のれん償却額	12,086	12,641
その他	641,158	380,322
販売費及び一般管理費合計	2,011,371	1,502,613
営業損失(△)	△306,436	△134,414
営業外収益		
受取利息及び配当金	645	557
協賛金収入	15,623	5,380
償却債権取立益	5,800	3,450
その他	5,283	5,072
営業外収益合計	27,352	14,460
営業外費用		
支払利息	17,484	16,962
その他	1,361	4,357
営業外費用合計	18,846	21,319
経常損失(△)	△297,929	△141,272
特別利益		
固定資産売却益	144	31
受取補償金	34,000	—
特別利益合計	34,144	31
特別損失		
減損損失	13,496	119,218
店舗閉鎖損失	7,573	5,080
特別損失合計	21,070	124,299
税金等調整前四半期純損失(△)	△284,855	△265,540
法人税、住民税及び事業税	3,193	2,898
法人税等調整額	△640	△680
法人税等合計	2,552	2,217
四半期純損失(△)	△287,407	△267,757
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△287,407	△267,757

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
四半期純損失（△）	△287,407	△267,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,152	1,075
その他の包括利益合計	△1,152	1,075
四半期包括利益	△288,559	△266,681
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△288,559	△266,681
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,478,708	3,713,723	5,192,432	5,192,432	—	5,192,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,478,708	3,713,723	5,192,432	5,192,432	—	5,192,432
セグメント利益又は損 失(△)	△259,441	△26,307	△285,749	△285,749	△20,687	△306,436

(注) 1. セグメント損失の調整額△20,687千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,827千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額76,140千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において12,230千円、「モバイル事業」において1,265千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	840,779	2,898,901	3,739,681	3,739,681	—	3,739,681
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	840,779	2,898,901	3,739,681	3,739,681	—	3,739,681
セグメント利益又は損 失(△)	△380,551	251,083	△129,467	△129,467	△4,946	△134,414

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,946千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△81,086千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額76,140千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、廃棄を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において102,601千円、「モバイル事業」において6,782千円、全社費用9,834千円であります。